

施策体系図

第 2 期 高 知 県 ス ポ ー ツ 推 進 計 画 V e r . 3

概要版

柱	施策の方向性	具体的な施策
1 スポーツ参加の拡大	(1) 新たなスポーツ推進体制による持続可能な地域スポーツの推進	○新たな地域スポーツ推進体制の確立 ○支える人材や場の充実 ○官民協働によるスポーツ資源の効果的な活用
	(2) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	○家庭や地域における遊びを通じた運動の推進【幼児期】 ○学校(小学～大学)や地域におけるスポーツ機会の充実【児童期・青年期】 ○職場(企業)や地域におけるスポーツ機会の充実【壮年期・老年期】
	(3) 障害者のスポーツ参加機会の拡充	○障害者スポーツの活動支援 ○障害者が参加しやすい環境づくり ○スポーツ情報の活用の充実 ○障害者スポーツの理解啓発の推進
	(4) 中山間地域におけるスポーツ活動の充実	○中山間地域における地域住民のニーズに応じた活動の充実
	(5) 多様なスポーツ機会の提供	○本県の豊かな自然環境を生かしたスポーツ活動の推進 ○新たな大会やイベントを通じたスポーツ活動の推進
	(6) スポーツを通じた健康増進	○高知家健康パスポートと連携したスポーツ参加機会の拡充 ○県民の健康状態やニーズに応じた効果的なプログラムなどの提供
	(7) スポーツに親しむ場の確保	○既存施設やオープンスペース等の有効活用 ○スポーツ施設・設備の整備
2 競技力の向上	(1) 新たなスポーツ推進体制による戦略的な競技力強化	○新たな強化推進体制の確立 ○育成・強化活動に対する支援の充実
	(2) 系統立てた育成・強化体制の確立	○育成プログラムによる系統的な育成・強化の推進 ○子どもの適性に応じた発掘・育成の推進 ○運動部活動における重点強化 ○身近な地域でスポーツを切れ目なく続けられる環境づくり ○大学や企業の競技スポーツ活動の推進 ○シニア世代の競技力の向上 ○トップ選手の重点強化 ○障害者スポーツの競技力の向上
	(3) 指導者等の育成及び受け入れの推進	○年代や習熟度に応じた質の高い指導やサポートができる指導者等の育成 ○優秀な指導者等の県内への招へい・受け入れの促進
	(4) スポーツ医科学の効果的な活用	○スポーツ医科学拠点によるスポーツ医科学サポートの推進 ○スポーツ医科学のサポートを行う人材の育成 ○各競技団体等におけるスポーツ医科学の効果的な活用の促進
	(5) スポーツ施設・設備の整備	○競技拠点となるスポーツ施設や設備の整備
3 活力ある県づくり スポーツを通じた	(1) スポーツを通じた経済・地域の活性化	○スポーツツーリズムによる交流人口の拡大 ○地域におけるスポーツサービスの拡充
3本の柱に横断的に関わる施策の方向性		
(1)	オリンピック・パラリンピック等を契機としたスポーツの振興	○オリンピック・パラリンピック等を契機としたスポーツ参加の拡大 ○オリンピック・パラリンピック等を契機とした競技力の向上 ○オリンピック・パラリンピック等を契機とした地域の活性化

スポーツが変わる！

あした
未来へつなぐ！

計画の概要

計画策定の背景及び趣旨

計画の期間

平成30（2018）年度～令和4（2022）年度

高知県は、これまで課題解決の先進県を目指して、経済の活性化や日本一の健康長寿県づくり、南海トラフ地震対策をはじめとする政策を全力で実行してきました。

こうした中、県民のスポーツニーズの多様化や本県のスポーツを取り巻く環境の変化に応じたスポーツ振興を目指して、県民をはじめ、市町村やスポーツ関係団体などと連携・協働し、県民がスポーツを通じて健やかで心豊かに、支え合いながら生き生きと暮らすことのできる社会の実現をより確実なものとするため、平成30年3月、「第2期高知県スポーツ推進計画」を策定しました。

計画の基本方針

第2期高知県スポーツ推進計画が目指すもの

本県スポーツの現状を踏まえた取り組みを抜本強化し、スポーツを通じて本県が抱える課題解決を図り、高知県の明るい未来につなげていくためには、県民誰もが日常的・自発的に将来にわたってスポーツに親しみ、夢や志を育むことができる環境づくりや、トップアスリートの輩出、スポーツの価値や魅力を通じた地域の一体感や活力の醸成が必要であると考えます。また、スポーツを通じて、グローバルな社会課題を解決し、持続可能な世界の実現を目指すための国際目標であるSDGs（*）の達成に貢献していきます。こうしたことから、本計画においては、

目指す姿

スポーツを通じて
健やかで心豊かに、支え合いながら
生き生きと暮らすことのできる社会

を目指す姿とします。

基本理念

さらに、目指す姿の実現に向け2つの基本理念を定めました。


（1）将来にわたって誰もがスポーツに親しみ夢や志を育むことができる環境をつくる

すべての地域において、年齢、性別、障害の有無等に関わらず、県民誰もが各々の関心や適性等に応じて、安全安心な環境の下で日常的・自発的にスポーツに親しみ、日本を代表するトップアスリートや指導者などを目指して夢や志を育むことができる環境づくりを進めます。

（2）スポーツの価値や魅力を通じて活力ある地域づくりにつなげる

スポーツは楽しさや喜びをもたらすと同時に、青少年の健全育成や地域間・世代間などの様々な交流の促進、健康増進など多面的な効果をもたらすことから、スポーツの価値や魅力を通じて、地域の一体感や活力の醸成を図り、地域の活性化や共生社会の実現、健康づくりなど幅広い分野につなげます。

（*）SDGs＝持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）

2015年9月に国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標で、17のゴールと169のターゲットから構成されている。

取り組み目標

目指す姿と計画の基本理念に基づき、以下の3本柱の取り組み目標とこれに横断的に関わる施策の方向性を定め、強化の対策を推進します。

施策の柱 1 スポーツ参加の拡大

◆県内すべての地域で「みる」「する」「ささえる」スポーツの参加人口が拡大する

県民誰もが、障害の有無に関わらず、各々の年代や関心、適性等に応じて、身近な地域で日常的にスポーツに親しむことができる機会の充実を図り、「みる」「する」「ささえる」といった多様なスタイルでスポーツに参加する人口の増加を目指します。

基本
目標

- 成人の週1回以上のスポーツの実施率を65%以上
- 1年間に直接会場でスポーツを観戦した者の割合を50%以上
- スポーツに関するボランティア活動を行っている者の割合を10%以上

施策の柱 2 競技力の向上

◆全国トップレベルの選手が増加し、日本を代表する選手等を多数輩出する

個々の適性に応じた選手の発掘や系統的な育成・強化体制の充実により、全国トップレベルの選手を数多く育成するとともに、オリンピック・パラリンピックをはじめとする世界トップレベルの大会に出場するなど、日本を代表する選手や、そうした選手を支える指導者等を本県から多数輩出することを目指します。

基本
目標

- 国民体育大会の総合順位：30位以内
- 国民体育大会の獲得競技得点：900点
- 日本を代表する選手等の輩出人数：40人以上

施策の柱 3 スポーツを通じた活力ある県づくり

◆スポーツを通じて一体感や活力ある地域社会を実現する

スポーツツーリズムの推進や地域におけるスポーツサービスの提供を通して、人材の活用・育成の充実、移住促進、交流人口の拡大、雇用の創出を図り、経済や地域の活性化につなげます。

基本
目標

- 県外からのスポーツによる入込客数：14万人
- 市町村で行われているスポーツイベント（大会）の数：420回
※市町村が主催・共催・後援などで関わりのあるイベント（大会）の数

3本の柱に 横断的 に関わる施策の方向性

◆オリンピック・パラリンピック等を契機としたスポーツの振興

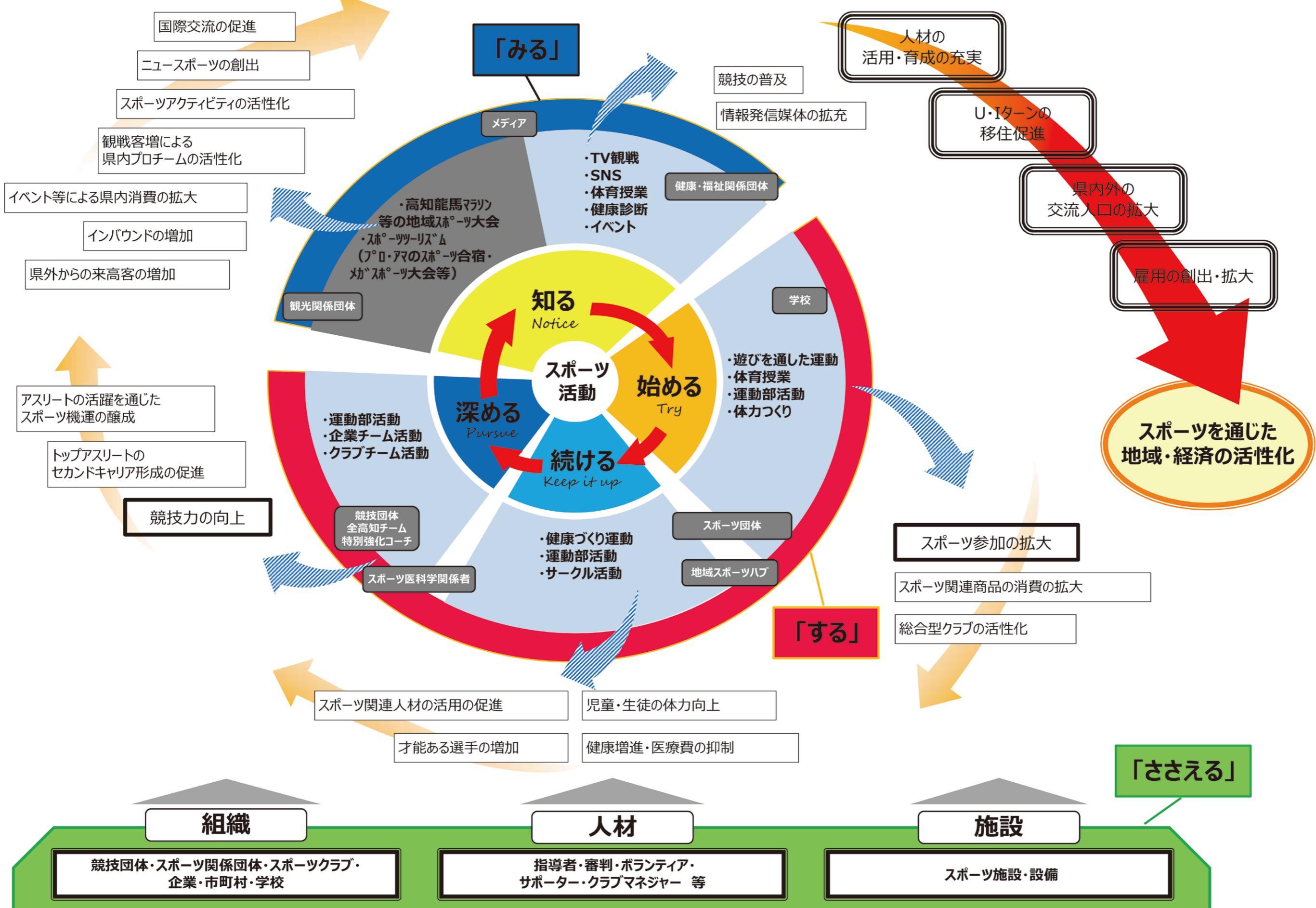
2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を好機と捉え、参加国の事前合宿等の招致を通じた機運の醸成を図るとともに、将来を担う子どもたちが夢や希望を抱いてスポーツに取り組み、県民の誰もがスポーツに親しめる環境づくりや、地域の活性化につなげる取り組みを進めます。

本計画におけるスポーツの範囲

本計画での「スポーツ」は、競技としてルールに則り活動する陸上競技や球技、武道などだけでなく、体操、ダンス、レクリエーションとして行われる身体活動や、軽度の運動も含むものとしています。

第2期高知県スポーツ推進計画の目指す姿

個人のスポーツへの関わり方の変容を、スポーツを「知る」「始める」「続ける」「深める」の4つの視点により、それぞれが拡大し好循環することで、様々な成果や効果をもたらし、当計画の目指す姿に至るまでの全体像を表しています。



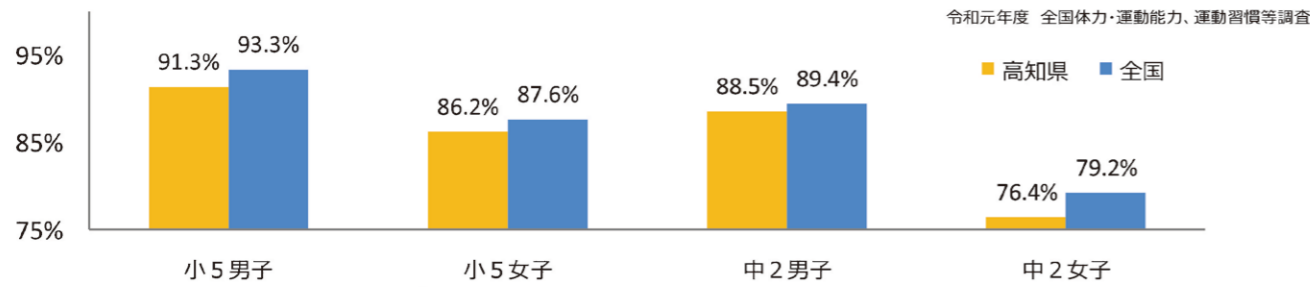
計画の
目指す姿

スポーツを通じて健やかで心豊かに、
支え合いながら生き生きと暮らすことのできる社会

高知県のスポーツの現状

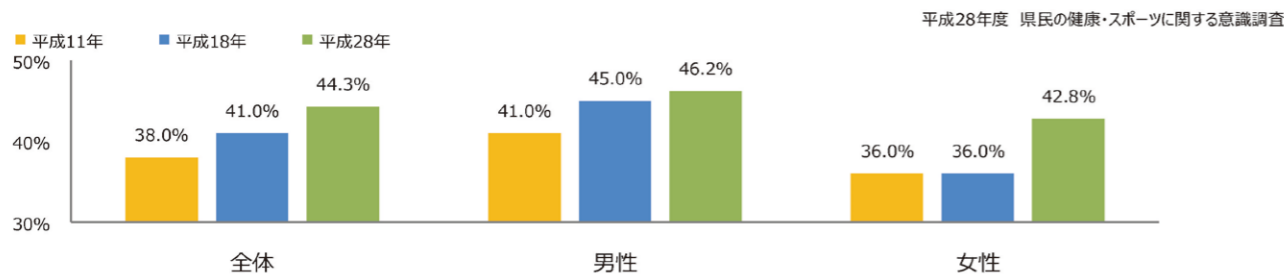
子どもの運動・スポーツの状況

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツが好きな子どもの割合



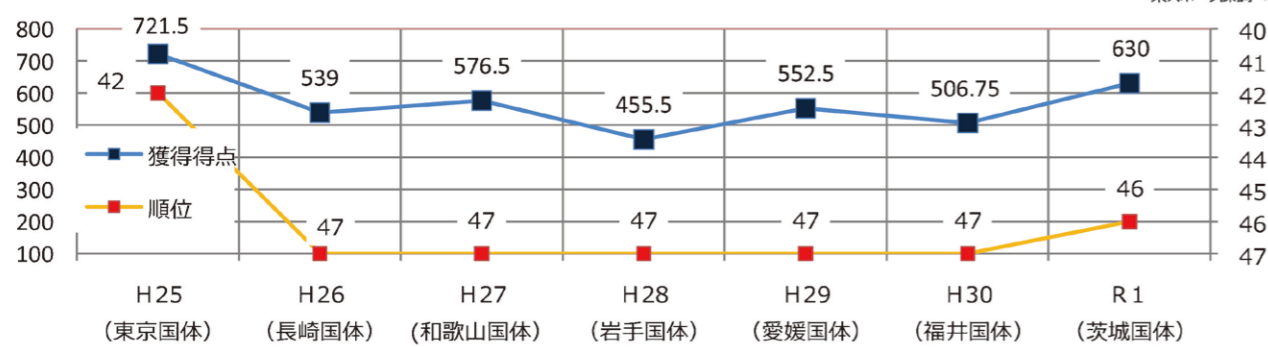
成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率の推移

成人の週1回以上運動・スポーツを実施する者の割合



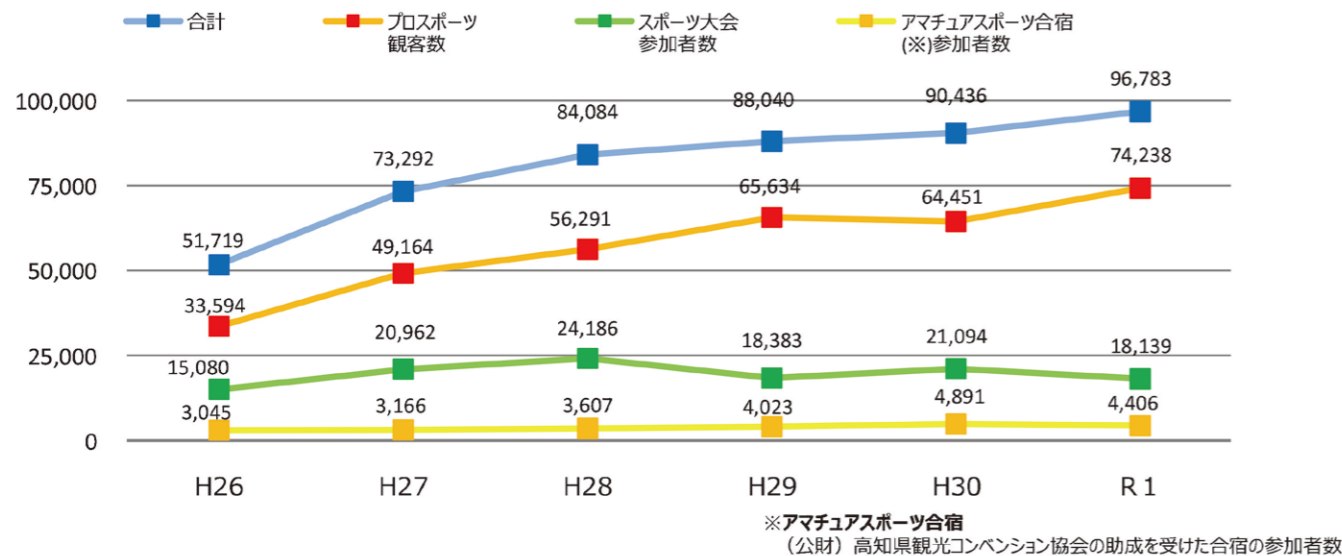
競技スポーツの状況

国民体育大会における獲得得点および順位の推移（天皇杯（総合成績））



スポーツツーリズムの状況

スポーツ関連イベントによる県外からの来客数



第2期高知県スポーツ推進計画における強化ポイントの全体像

施策の柱①	スポーツ参加の拡大	施策の柱②	競技力の向上
(1)	新たなスポーツ推進体制による持続可能な地域スポーツの推進 ○スポーツ機会の拡充に向けた地域スポーツの拠点づくり ・地域のニーズに応じたスポーツ機会の拡充（地域スポーツハブの拡充） ・特別支援学校等と連携した障害者スポーツの推進	(1)	新たなスポーツ推進体制による戦略的な競技力強化 ○さらなる競技力向上に向けた強化 ・競技団体の実情に応じた効果的な強化 ・全高知チームによる重点強化 ・選手強化におけるPDCAの徹底
(2)	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 ○スポーツを「知る」「始める」機会の拡充 ・情報発信の強化 ・気軽にスポーツに親しむ機会の拡充 拡 ジュニア選手育成【再掲】 ・スポーツを知る・出会う機会の拡充【発掘】 ・地域の実情に応じた子どものスポーツ環境の充実【育成・強化】	(2)	系統立てた育成・強化体制の確立 拡 ジュニア選手育成 ・スポーツを知る・出会う機会の拡充【発掘】 ・地域の実情に応じた子どものスポーツ環境の充実【育成・強化】
(3)	障害者のスポーツ参加機会の拡充 拡 障害者スポーツの充実 ・障害者スポーツの活動支援 ・障害者が参加しやすい環境づくり ・スポーツ情報の活用 ・障害者スポーツの理解啓発の推進	(3)	指導者等の育成及び受け入れの推進 拡 ジュニアに関わるスポーツ指導者の拡大及び指導力向上 ・ジュニアに関わるスポーツ指導者の拡大・指導力向上 ・ITを活用した研修機会の拡充（トレーニング、コンディショニング指導等）
(4)	中山間地域におけるスポーツ活動の充実 ○スポーツ機会の拡充に向けた地域スポーツの拠点づくり【再掲】	(4)	スポーツ医学の効果的な活用 ○高知県スポーツ科学センター（SSC）によるスポーツ医学サポートの強化
(5)	多様なスポーツ機会の提供 ○スポーツ機会の拡充に向けた地域スポーツの拠点づくり【再掲】	(5)	スポーツ施設・設備の整備 ○スポーツ施設等の充実に向けた取組の支援（高知県スポーツ推進交付金）
(6)	スポーツを通じた健康増進 ○スポーツを通じた健康増進 （健康づくりの県民運動「ヘルシー・高知家・プロジェクト」/高知家健康/サポート事業）		
(7)	スポーツに親しむ場の確保 ○スポーツ施設等の充実に向けた取組の支援（高知県スポーツ推進交付金）【再掲】		

3本の柱に横断的に関わる施策の方向性

オリンピック・パラリンピック等を契機としたスポーツの振興

目標達成に向けた主な取り組み

地域スポーツハブの育成・支援

地域のスポーツ活動拠点（地域スポーツハブ）となるスポーツクラブ等を育成し、多様なニーズに応じたスポーツ活動の充実を図ります。



障害者のスポーツ参加機会の拡充

障害のある方が地域で安心してスポーツ活動に参加できる環境づくりに取り組みます。



ジュニアに関わるスポーツ指導者の拡大・指導力向上

子どもたちが、質の高い指導を継続して受けられるよう、ジュニアに関わるスポーツ指導者の指導力向上や裾野の拡大に取り組みます。



高知県県民スポーツシステムによる選手の発掘・育成

子どもたちが自分の適性に応じたスポーツに出会うための測定会の開催や、多様なプログラムにより運動能力を高める取り組み等を進めます。



全高知チームによる有望選手の重点強化

全国トップレベルの指導者の監修のもと、競技ごとの有望選手を戦略的に育成・強化を行う「全高知チーム」の取り組みを拡充し、さらなる競技力の向上を図ります。



スポーツ医学の効果的な活用

健康増進や競技力向上に向けた技術練習等が、合理的かつ効果的に行われるよう、スポーツ医学の見地から様々なサポートの充実を図ります。



スポーツツーリズムの推進

プロ・アマチュアスポーツのキャンプや大会などの誘致、サイクリングやカヌーなど、本県の自然を生かした取り組みを推進します。



高知龍馬マラソンの開催

県民のスポーツや健康への関心を高め、生涯スポーツの普及・振興を図るとともに、魅力ある大会づくりによりスポーツツーリズムを推進します。

